

# 医学生 × 亀岡雅紀さん

2023年9月26日(火) 18:00~20:00

こどものロコモ-体力格差をなくそう- Zoom 配信



## <講師紹介>

現在、新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科 助教。  
健康科学、運動機能、発育発達、子ども学、野外教育、健康社会デザイン、スマートライフデザインなどが専門の研究者。

子どものロコモ（運動器の働きが低下している状態）や体力格差について警鐘を鳴らし、各地での改善プログラムに精力的に取り組んでいる。現在、メディカルフィットネス・ウオーム、新潟大学と東北医科大学の医学生とともに秋葉区における子どものロコモと経済格差の関係について、調査の準備をすすめている。

また2022年11月28日いわて盛岡シティマラソンにおいては、意識を失って倒れた70代男性の救急救命措置を行い、実行委員会より感謝状が送られた(男性は救急車内で意識を回復)。

【参加対象】 子どものロコモに興味のある医療系学生

【参加申込】 締切：9月8日(金) 17:00

【会場】 新潟民医連 医系学生室 ※ 個人のPC 端末から参加希望の方はお知らせ下さい

【内容】 亀岡雅紀さんの講演・医療系学生と対話コーナー

- ① 3間(時間・空間・仲間)を失った現代の子どもたち ② 運動教育と発育発達について
- ③ 子どものロコモについて ④ 次世代の医療者へメッセージ!

【お申込み】 QRコードを読み込みお問い合わせ内容に「こどもロコモ学習会」とご記載下さい。

【お問い合わせ】 新潟民医連 医系学生室 担当 大口 歩  
gakusei@niigata-min.or.jp



## <子どもの運動機能低下・体力格差について>

近年、子どもの運動機能が低下しており、姿勢不良による腰痛や疲労感の増加などが懸念されています。運動機能の低下を放置することは、大人になった際の健康への悪影響につながります(生活習慣病など)。また経済格差と体力格差にも相関があることが報告されています。

子どもが楽しく健康づくりに取り組むには、どうしたらよいでしょうか。みなさんと一緒に考えてみましょう!



メディカルフィットネス・ウオームの取り組み